

困ったときは？

医療・介護についての 質問コーナー

質問

「入れ歯を洗う時、お湯で洗ってはいけないのはなぜですか？
歯がない人でも口の中をきれいにするのはなぜですか？」

※ご質問を受付けています。郵便または
FAXにて編集委員会までお寄せください。
FAX：042-491-9518

回答

入れ歯は熱に弱いです。飲めるくらいの温度のお茶やスープであれば問題ありません。煮沸消毒をした方がいいかもしれない…と熱湯をかけると素材が収縮して形が変わり、合わなくなってしまうので、必ずぬるま湯を使用してください。

そして「入れ歯だけきれいにしてあげればいいだろう」と思っている方はいませんか？

そんなことはありません！歯がない、または歯が少なくても口のケアは重要です。口の中をきれいにしておかないと、どんなことが起こるでしょう。

1. 口の細菌が気管を通過して肺炎を起こす

入れ歯と接している歯肉や上あごには、入れ歯と歯茎のすき間をかくぐって侵入した食べ残りや細菌が付着しています。それをほっておくと…細菌が繁殖し、気管を通過して肺へと侵入。それが引き金となり、肺炎を引き起こす可能性があります。

2. 歯茎への刺激がないと歯茎が衰え入れ歯が安定しづらくなる

歯茎に歯が無くなり、入れ歯が乗っているだけの状態では刺激が伝わらないため、歯茎が衰えてしまいます。歯茎の盛り上がりが少なくなると入れ歯を安定させる吸着力が働きにくく、作成した入れ歯と形も合わなくなり、安定しづらくなってしまいます。

3. 唾液が減少し、粘膜の免疫力が低下する。

「唾液の自浄作用」の事をご存知でしょうか。歯茎が歯ブラシによる刺激を受けていないでいると、唾液の分泌量が低下し、粘膜の免疫力が低下してしまうのです。人間が持つ優れた能力も口の中が不潔のままでは機能してくれないのです。

入れ歯自体のお掃除も大切ですが、口全体のケアも気にかけていただくと、自分の好きなものがより美味しく食べられると思います。定期的な歯科受診も大事ですよ。

(病院リハビリ 言語聴覚士)

